

第202号

平成23年4月10日

病院だより

International Goodwill Hospital

電子カルテ導入について

Hideo Iida

飯田 秀夫

皮膚のアンチ・エイジング

Hioromichi Yamada

山田 裕道

研修医より

Takeshige / Nishiyama / Takahashi

竹重・西山・高橋

国際親善総合病院

URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (庶務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

電子カルテ導入について

今年度、電子カルテを導入することになりました。当院において、今までのコンピュータは、血液検査の実施・内服薬の処方・次回診察予約等のものだけでありました。これは、広い意味で電子カルテと言うようではありますが、これでは、各診療科別々であり、情報が一元化されておらず、瞬時に情報を把握することができませんでした。このため、今回より、一般的に言われている電子カルテで、カルテの記載も含め、すべてのことをコンピュータ上に入れることを行うことになりました。これにより、情報を一元化し、多くの情報を瞬時に得られることとなります。最終的に、この電子カルテから集積されたデータを基に問題点を検討することにより、より良いサービスの提供・より質の高い医療を提供していきたいと思えます。

当初の予定では平成23年4月1日の稼働でありましたが、3月11日の東日本大震災およびその後の計画停電に伴い、一か月後の5月1日に変更することを余儀なくされました。5月1日の稼働について、稼働当初はご不便をかけるかもしれませんが、数年後、皆さまにとって、より良質・親切・信頼される病院になることをめざしておりますので、宜しく願いいたします。

副院長 飯田 秀夫

《院外処方について》

平成23年4月から電子カルテの導入と同時に「院外処方」を予定いたしておりましたが、電子カルテと同様に平成23年5月から開始とさせていただきます。ご理解とご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

皮膚のアンチ・エイジング



-若くて健康な肌を維持するための医学的対応-

昨今「アンチ・エイジング」という言葉がよく聞かれるようになりました。「エイジングageing」は年をとる、すなわち加齢という意味で、「アンチ」はそれに抗する・反するという意味ですから、「アンチ・エイジング」は年をとらない、老化しない、若さを保つ、という意味になろうかと思えます。それでは皮膚の老化とは具体的にはどのような現象をいうのでしょうか。皮膚の老化には生理的老化と光老化があります。生理的老化は蒼白・乾燥・粗造・色素脱出をさし、光老化はしみ・しわをさします。生理的老化の予防としては禁煙、栄養バランスのよい食事、果物・野菜を豊富にとることなどがいいといわれています。光老化の予防は、ずばり紫外線の遮断です。具体的には太陽紫外線強度の強い時刻の外出を控える、日傘やつばの大きな帽子の使用、長袖服の着用、日焼け止めの使用などがいいといわれています。

それでもできてしまったしみ・しわにはどう対応したらよいのでしょうか。昔はしみ・しわの治療はありませんでしたが、医学が進んだ現代ではいろいろな治療法が開発されています。ビタミンCやビタミンEの内服、ビタミンCローションやトレチノインクリーム（ビタミンAの1種）の外用は誰にでもできる簡単なしみ・しわ対策です。さらにはケミカルピーリング、インテンスパルスライト（IPL）という光治療、レーザーフェイシャル、しみのレーザー治療、しわのボトックス注射治療など専門的な治療もあります。

お悩みの方はどうぞ受診の上ご相談ください。初めての方はかかりつけ医（お近くの開業医）の先生からの紹介状をご持参下さい。

皮膚科部長 山田 裕道

このテーマは

平成23年5月13日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

研修医より

— 卒業生より —

2年間、1～2ヶ月ごとに各科をローテーションし、その都度各科の先生方の働く背中に憧れ、それだけに自分に対するもどかしさや焦りがありました。

そんな私に、ある先生が「研修医になんて期待してない、出来なくても医者としての責任だけは持て！」と激励して下さったことがありました。愛情溢れる先生の言葉に心を打たれました。また、ある先生は「人生に無駄なことはない！」と教えてくださいました。振り返れば、色々な形で先生方にご指導していただきました。心より感謝しています。

2年間終えて、その言葉をかみ締め、ひとつひとつの出来事が私に多くのことを気づかせてくれました。先生方をはじめスタッフの皆さん、そして患者さん、ありがとうございました。

今後とも国際親善病院研修医のご指導の程よろしくお願いいたします。

研修医（第9期生） 竹重 恵子



【竹重恵子 医師】

— 新研修医より —

はじめまして、初期研修医1年目の高橋みなみと申します。

私は弥生台出身であり、地域に根差した医療を提供している本院で働けることを光栄に思っております。医師としては未熟であり、学ばなければいけないことも数多くありますが、ひとつひとつ積極的に取り組んでいき、患者さんの立場に立った信頼される医療を行うことができるよう、努力したいと思います。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

研修医（第11期生） 高橋みなみ



【西山智哉 医師／高橋みなみ 医師】

この4月から研修医に採用されました西山智哉と申します。

出身地は札幌で旭川医科大学をこの春卒業しました。これまでの私にとっては4月といえば積雪があるのが当たり前の風景でしたが、ここ横浜ではとても暖かく桜が咲き始めるという春らしい光景に今更ながら驚いています。震災の影響などございますが、横浜・弥生台地区に一刻も早く慣れるとともに医師として地域の皆さまのお力になれますよう精一杯頑張りますので2年間どうぞよろしく申し上げます。

研修医（第11期生） 西山 智哉